

## 評価書(案)についての住民意見の概要および博覧会協会の見解

### 8 水質

意見所の概要	見解
<p>08-01</p> <p>・水質、底質、地下水の既存調査が8年度だけしかない(p66～)。最新データを用いるとともに経年変化をみるべきである。</p>	<p>ご指摘箇所は地域の概況部分であり、原則として実施計画書当時のものを記載しています。水質の経年変化及び最新データについては、調査結果の概要(p588、p1118)に記載いたしました。</p>
<p>08-02</p> <p>・既存資料による周辺河川の水質で、「人の健康の保護に関する項目についてはすべて環境基準を達成した」とあるが(p596、1120)、この2地点も含め、鉛がちょくちょく検出されている。瀬戸市の環境(平成10年度版 p39～42)によると、月1回測定で12回のうち、山口川菱野橋で0.07mg/lを始め4回検出、瀬戸川公園橋で0.014mg/l2回を始め4回検出、水野川御用橋で0.008mg/lを始め3回検出されている。こうした特徴的なことこそ明記すべきである。(他に同趣旨1件)</p>	<p>p596及びp1120では、環境基準の達成状況に着目しています。鉛が検出されている事例については、p596及びp1120の公共用水域水質調査結果でご理解いただけたらと考えております。</p>
<p>08-03</p> <p>・水質の調査項目として、海上地区について、降雨時の水質の状況は「既存の調査結果を活用し把握した」(p323)とあるが、青少年公園地区では「周辺の河川3地点で...3降雨を対象に現地調査を行った」(p382)。海上地区についても現地調査を追加すべきである。</p>	<p>海上地区については、地域整備事業による既存の調査結果を活用いたしました。調査内容については青少年公園地区で実施したものと同等のものです。</p>
<p>08-04</p> <p>・海上地区での工事中の水質予測で、降雨条件を24時間雨量50mmとしているが(p617)、この瀬戸地区は県が継続して観測した結果、24時間の最大雨量は、平成9年146mm、平成11年160mmもある。また、時間最大雨量を50mmとしているが(p617)、この瀬戸地区の24時間最大雨量は平成9年61mm、平成10年52mm、平成11年37mmもあり(愛知県量水年報)相当危険側である。</p>	<p>降雨時の濁水予測で使用した降雨条件は、その降雨時の水質データ(SS)が予測が必要であるため、水質の現地調査結果がある降雨(p612,1134,1135)のうち降水量が最も大きかった降雨としております。</p> <p>予測に使用した24時間雨量は50mm(p617)、44.5mm(p1144)ですが、「日本気候表 全国の平年値一覧(統計期間1971～2000年)」(平成13年3月気象庁)によると、名古屋において降水量が30mm以上の階級別日数は年間13.7日、50mm以上は年間5.0日であり、危険側での予測結果ではないと考えております。</p> <p>今後、沈砂池の滞留時間の延長やそだの設置等の措置を検討してまいります。</p>

意見所の概要	見解
<p>08-05</p> <p>・海上地区の工事中の水質予測で、沈砂池流出における浮遊物質量の予測結果(p618)が、準備書(p390)より悪化している。海上地区は改変面積を大幅に縮小したはずだが、こんな結果となるのは非常識である。改変部に対する沈砂池の面積割合を少なくし過ぎたのではないか。</p>	<p>@基本計画に基づき、沈砂池の妥当な面積を算定し予測いたしました。予測結果は評価書(案)に示すとおりであり、放流先河川の水質影響については、工所用沈砂池等の保全対策を徹底するとともに、竹そだろ過棚や碎石ろ過棚等の沈殿処理対策などの更なる保全対策を施すことなど、実行可能なものを積極的に取り入れていくことにより、低減が図られるものと判断しております。</p> <p>なお、会場計画の変更に伴う会場規模の縮小によって、海上地区の土工量については大幅に減少しており、浮遊物質量の総量としても放流先河川に対する環境負荷が低減されるものと考えております。</p>
<p>08-06</p> <p>・会期中に樹木等への農薬・肥料の散布を想定しているが(p620、1147)もともと、農薬とは縁のなかった海上地区はもちろんのこと、農薬のような異質の物質が流出することは望ましくない。環境万博の名にはじかないよう、無農薬で計画すべきである。(他に同趣旨1件)</p>	<p>農薬等の使用そのものを最小限に抑えること等により調整池や湿地等、湿生動植物の生息・生育地への影響の回避又は低減に努めてまいります。</p>
<p>08-07</p> <p>・実施計画書への知事意見に対する見解として、準備書には「農薬等を使用する場合には、該当する要監視項目について現況を把握し、予測・評価いたします」とあるが(p146)、現況把握はどこにも示されていなかった(p366～)。まず現況の水質濃度を調査しておくべきであるし、会期中や会期後の農薬流出状況を追加調査すべきである。</p>	<p>現段階では使用する農薬等が確定しておらず、分析項目が決められません。計画熟度が高まった段階で分析項目を決定し、調査を行ってまいります。</p>
<p>08-08</p> <p>・工事中の水質について、回避・低減のための方針で「有害物質を極力使用しない工法等の選択」(P614、1141)、「有害物質の使用が想定される」(P618、1145)とは何か、「極力使用しない工法等」とは何か、具体的に示すべきである。(他に同趣旨1件)</p>	<p>現在は、まだ具体的な工法が決まっていないことから、現段階では「有害物質の使用が想定される」としたものです。なお、使用する場合にあっては、管理を徹底してまいります。</p>

意見所の概要	見解
<p>08-09</p> <p>・水質の調査項目として、環境基準の定められているダイオキシンが抜けている。まずは現地調査を追加すべきである。1999年2月に追加された硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素は真面目に追加調査している(p598)のを見習うべきである。</p>	<p>水質については土工を行う際に環境影響が懸念されるため、ダイオキシン類について追加調査を実施中で、評価書に記載する予定であります。</p>
<p>08-10</p> <p>・海上地区での上水供給 1,096トン(p621)の内訳はあるが、それぞれの算定根拠を利用人員の増減とともに明記すべきである。(他に同趣旨2件)</p>	<p>計画基準日想定入場者数を 27.5 万人から 1.5 万人への変更により、上水供給量 16,650t から 1,096t へと減じております。なお、瀬戸市との協議にて、会場(海上地区)への上水供給量(1,096m<sup>3</sup>/日)は可能と回答を得ております。</p>
<p>08-11</p> <p>・長久手町の現在の上水供給実績、供給能力、水源の容量を明記すべきである。(他に同趣旨1件)</p>	<p>愛知中部水道企業団との協議にて、会場(青少年公園地区等)への上水供給(10,557m<sup>3</sup>/日)は可能と回答を得ております。</p>
<p>08-12</p> <p>・計画基準日には人口 12 万 7 千人の瀬戸市に、同等以上の 15 万人が来場し 735m<sup>3</sup>/日の下水を使用する(p946)ことは可能なのか。(他に同趣旨2件)</p>	<p>海上地区の計画基準日の想定入場者数は 1.5 万人であります。瀬戸市との協議にて、会場(海上地区)への汚水量(735m<sup>3</sup>/日)は受け入れ可能と回答を得ております。</p>
<p>08-13</p> <p>・公共下水道の整備状況で、長久手町は公共下水道計画図があるだけ(p112)だが、下水処理施設能力を明記して、能力として対応可能かどうかを判断できるようにし、不足する場合の施設整備は誰がするのか明記すべきである。</p>	<p>長久手町との協議の結果、地域整備事業の前倒し施工により会場(青少年公園地区等)からの汚水量(6,615m<sup>3</sup>/日)は受け入れ可能との回答を得ております。</p>
<p>08-14</p> <p>・長久手町は公共下水道計画図(p112)によると、公共下水道計画域にも編入されていない。このために必要な施設整備費は誰がどれだけ負担するのか。</p>	<p>地域整備事業の前倒し施工に伴う経費を博覧会協会で負担する方向で協議しております。</p>

意見所の概要	見解
<p>08-15</p> <p>・海上地区、青少年公園地区ともに公共下水道に放流するというので、一時的な処理量増加、河川への負荷の増大があるので、その分を環境影響評価すべきである。(他に同趣旨 13 件)</p>	<p>会場からの汚水については、公共下水道に接続し、瀬戸市西部浄化センターおよび長久手浄化センターにおいて全量受け入れていただくこととしており、下水道事業者において適正に処理していただけるものと考えております。したがって、公共下水道終末処理場からの放流水については、環境影響評価項目の選定段階から対象項目としておりません。</p>
<p>08-16</p> <p>・会場内の下水処理などについても、検討すべきである。(他に同趣旨 5 件)</p>	<p>会場内に新たに汚水処理施設を作り、会期後撤去することを避けるため、長久手町の公共下水道事業との連携を図ることにより、効率的な会場整備を行うものです。排水について香流川、吉田川へ放流せず下水道接続したことにより、会場周辺の河川への環境影響について回避したものと考えております。</p>